

第 19 回 社会福祉士 専門科目（やまだ塾）

国家試験 問題・解説

＝④社会福祉援助技術＜事例 15＞＝（問題 132～問題 134）

【社会福祉援助技術】

（社会福祉援助技術・事例問題4）

次の事例を読んで、問題132から問題134までについて答えなさい。

（事 例）

地域包括支援センターのA職員が、同じ地域のB介護支援専門員から、私の担当のPさん（81歳、女性）が別居の息子とうまくいっていないようなので、一度一緒に訪問してほしいという連絡を受けた。そのB介護支援専門員の話によれば、最近になって不自然な内出血（痣・あざ）が腕に認められること（訪問介護員も確認している）、隣の市に住む息子（56歳）の訪問が頻繁にあり、その息子がPさんに怒鳴っている場面をたまたま訪れた近隣の人が見掛けたりしているとのことであった（問題132）。

数日後、担当となったSワーカーはPさんの承諾を得た上で、B介護支援専門員と一緒に訪問した。B介護支援専門員が痣のことについて心配していると伝えると、Pさんは、「転倒してタンスの角でぶつただけなんです」という説明を繰り返した（問題133）。

…（中略）…

Sワーカーが、「これから時々訪問させてもらってもいいですか」と尋ねると、Pさんは「はい、よろしくお願いします」と答えた。

Sワーカーは、その後の訪問を通して、息子をめぐっていくつかの情報を収集することができた。息子は、5年前に長く勤めた鉄工所をリストラされて定職を失い、その後夫婦関係が悪化し、3年前に離婚した。その後も、定職が見付からず、不安定な生活で、酒を飲む毎日が続いていたようである。母親のところには、年金をあてにしてやって来るとのことで、それをPさんが断ると息子が怒鳴るということが明らかとなった（問題134）。

問題 132 この時点で、A職員が採るべき対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. この時点で得られた情報の正確さについて再確認する必要がある。
- B. 生命の危険等、緊急性の程度を正確に把握する必要がある。
- C. 息子に連絡を取って、Pさんの痣に関する事実を確認する。
- D. B介護支援専門員と調整の上、Pさん宅への訪問のタイミングを考える。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 133 次の記述のうち、この段階でのPさんへの対応として、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. 痣についてPさんから話せる雰囲気を作る。
- B. タンスにぶつけた経緯について重ねて詳しく尋ねる。
- C. 息子の生活状況やPさん宅への訪問の頻度について尋ねる。
- D. 息子とできるだけ会わないように促す。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	×	○	○

問題 134 次の記述のうち、今後、Sワーカーが採るべき息子への対応として、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A. Pさんに対して怒鳴るのをやめるよう息子に指導する。
- B. 息子との接点を確保し、援助関係の形成に向けて取り組む。
- C. 息子の置かれた状況について共感的に理解する。
- D. 息子の飲酒の状況を把握する。

(組み合わせ)

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2007 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

	A	B	C	D
1	○	×	○	○
2	○	×	×	×
3	×	○	○	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	×